

ショート動画を内製化する前に決める 7つのこと

制作会社のノウハウを、社員が再現できる運営の仕組みへ。

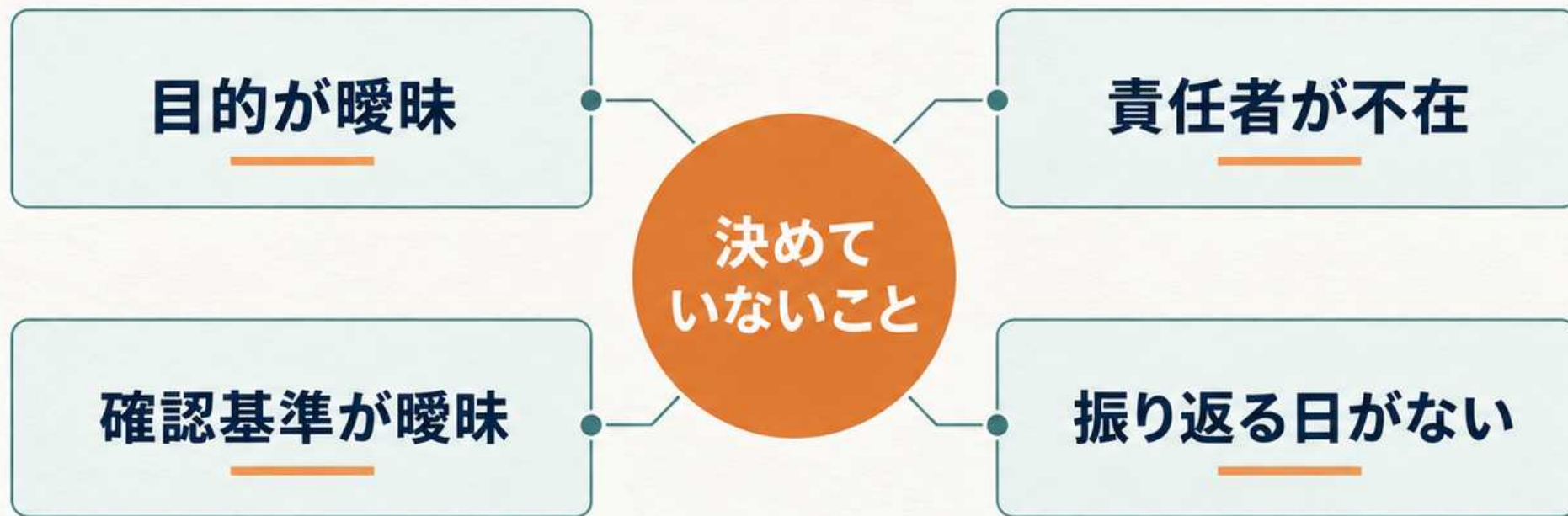


作り方ではなく、**続け方**まで決める。

- 1 目的と対象
- 2 担当者と役割
- 3 社内に残す範囲
- 4 制作の標準
- 5 ツールと素材管理
- 6 見る数字
- 7 判断する日

決める順番が見えれば、内製化は**もっと進めやす**くなります。

動画が止まる原因は、技術より“**未決定**”にある。



未決定を減らすほど、チームは動きやすくなる。

まずは曖昧な項目を、チームで見える化していきましょう。

**誰が・何を・どこまで・いつ判断するかを、
自社の言葉にする。**

担当者依存



チームで判断・制作・改善

本数だけでなく、**次の企画を決められる状態**を目指しましょう。

1 | 目的と対象を、一文で決める。

変えたい経営課題

最初の視聴者

一番伝えたいこと

見た後の行動

メインルール

一つの疑問に、一つの答え。

相手の目線から、最初の一本を組み立てていきましょう。

2 | 担当者と役割を決める。

ディレクター

目的・期限

構成

誰に何を伝えるか

撮影

音・光・画角

編集

視聴体験

確認者

事実・ブランド

分析者

数値と次の仮説

兼務しても、役割ごとの責任者は一人。

万能な一人ではなく、責任の空白がないチームをつくりましょう。

3 | 社内に残す範囲を決める。

社内に残す判断

- 01 | 顧客理解
- 02 | 目的設定
- 03 | 企画判断
- 04 | 現場調整
- 05 | 公開後の学習

共同
レビュー

外部で補う専門性

- 01 | 専門撮影
- 02 | 高難度編集
- 03 | 広告クリエイティブ
- 04 | 繁忙期の量産
- 05 | 第三者レビュー

判断は社内に、専門性は必要なときに借りていきましょう。

4 | 制作の標準を決める。

必要カットは、撮影前に一覧化する。

01 | 撮影前

台本・場所・許可

02 | 撮影時

冒頭・音声・光

03 | 編集時

一画面一メッセージ・字幕

04 | 公開前

事実・権利・リンク

センスをチェック項目に変え、再現性を高めていきましょう。

5 | ツールと素材管理を決める。

選定チェックリスト



01

1週間で基本操作
を覚えられる



02

テンプレートと
権限を共有できる



03

素材の場所と
最新版が分かる



04

ほかの担当者へ
引き継げる



05

商用利用・個人情報・
生成AIを確認できる

最小構成の基本スタック

01

撮影

02

編集

03

保管

04

管理

最小構成から始め、必要に応じて足していきましょう。

6 | 見る数字を決める。

制作の負荷

01

社内工数

02

月間本数

03

リードタイム

目的への反応

01

視聴維持

02

保存・コメント

03

問い合わせ・応募

再生数だけで判断しない。

数字と現場の声を、同じ会議で振り返っていきましょう。

7 | 判断する日を決める。



期限があるから、試した結果を次へつなげられる。

答えを急がず、**次の判断を明確に**していきましょう。

7つは、制作開始前に一枚で確認する。

- 1 ☐ | 目的と対象
- 2 ☐ | 担当者と役割
- 3 ☐ | 社内に残す範囲
- 4 ☐ | 制作の標準
- 5 ☐ | ツールと素材管理
- 6 ☐ | 見る数字
- 7 ☐ | 判断する日

未決定

☐

決定済み

☐

見直し日

決められる項目から、**一つずつ**揃えていきましょう。

決めた7つを、90日で運営の型にする。



毎回、残す記録

01 | 制作時間

02 | 公開後の反応

03 | 次に変えること

記録が増えるほど、自社に合う進め方が見えてきます。

小さく試し、作る範囲を広げる。

まず社内で

- 1 企画
- 2 撮影

最初は外部と

- 1 編集テンプレート
- 2 品質基準づくり

月4本から開始



8週間で見直す

評価項目

1 制作時間

2 品質

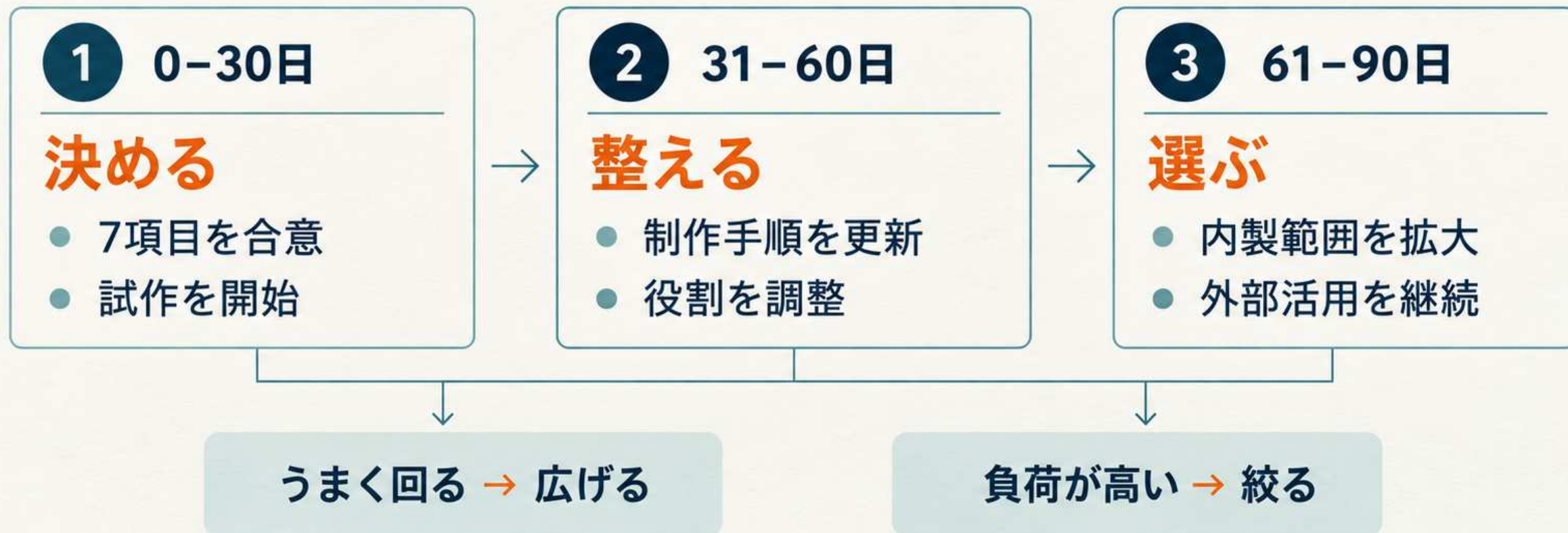
3 反応

4 続けやすさ

成果を保証するものではなく、判断材料を集めるためのモデルです。

続けられる形を、少しずつ自社のものにしていきましょう。

最初から完成形を目指さない。



自社に合うペースで、無理なく前へ進めていきましょう。

明日から作るのは、 動画ではなく運営の土台。

今日、決める5つ

1

目的

2

担当者

3

内製範囲

4

公開基準

5

見直す日

自社の内製範囲を相談する >

迷うところから、一緒に整理していきましょう。